

1：太夏真興

- ①夏：赫連勃勃時代
- ②真興年間（419～425）
- ③五胡十六国のひとつ、夏で鑄造された貨幣。年号を入れた貨幣としては**史上2番目**に古い。夏は匈奴系の国家で、初代皇帝**赫連勃勃**（かくれんぼつぼつ）には逸話も多い。



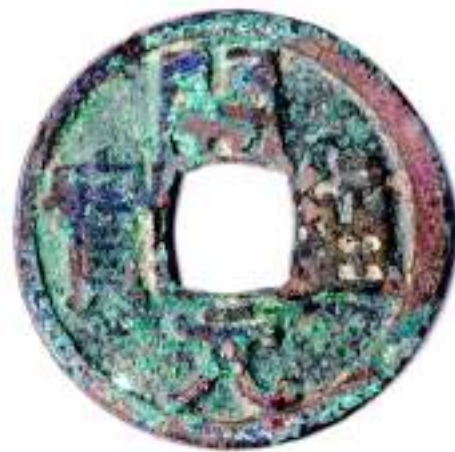
太夏真興・表



太夏真興・裏

2：開元通宝

- ①唐：高祖—肅宗時代
- ②武徳—至徳（621～757）
- ③唐前期に膨大に鑄造された貨幣。開元年間（713～741）以前からあるため、本来は「開通元宝」とされる。**遣唐使**を通じて日本にも大量に流入した。会昌年間にも鑄造された。



開元通宝・表
唐前期



開元通宝・表
唐後期・会昌年間（840-846）
洛陽鑄造所

3：乾元重宝

- ①唐：肅宗時代
- ②乾元年間（758～760）
- ③唐10代皇帝の時に鑄造された貨幣。当時、唐は**安史の乱**で大混乱を来していた。都長安を奪回した直後の肅宗は、軍事費捻出のためこの銅銭を大量に発行した。



乾元通宝・表



乾元通宝・裏

4：太平通宝

- ①北宋：太宗時代
- ②太平興国年間（976～983）
- ③北宋2代皇帝太宗の時に鑄造された貨幣。この太平興国年間に、唐末から続いた分裂が再統一された。太宗は日本から来た**東大寺の僧を厚遇**したことでも知られる。



太平通宝・表



太平通宝・裏

5：至道元宝

- ①北宋：太宗時代
- ②至道年間（995～997）
- ③北宋2代皇帝太宗の末期に鑄造された貨幣。この頃、太宗の外征は悉く失敗し、**内政重視の文治主義**に転換しつつあった。至道3年、太宗は死去し至道元宝の鑄造も終了した。



至道元宝・表



至道元宝・裏

6：天聖元宝

- ①北宋：仁宗時代
- ②天聖年間（1023～1032）
- ③北宋4代皇帝の初期に鑄造された貨幣。この時期、仁宗は幼年だったため、先代の皇后（章献皇后）が皇太后として政治を代行。国内をまとめ、**西夏・遼**と互角に戦った。



天聖元宝・表



天聖元宝・裏

7：明道通宝

- ①北宋：仁宗時代
- ②明道年間（1032～1033）
- ③北宋4代皇帝の前期に
鑄造された貨幣。この時
期、仁宗の後見である**章
賢皇太后**の英明は名高く、
国内外は安定した。明道2
年、皇太后は突如病死し、
仁宗の親政が開始される。



明道元宝・表



明道元宝・裏
はがし跡あり

8：景祐元宝

- ①北宋：仁宗時代
- ②景祐年間（1034～1038）
- ③北宋4代皇帝仁宗の時
に鑄造された貨幣。景祐
年間は北方の**遼**や建国直
後の**西夏**が強盛であり、
北宋軍は各地で連敗。国
境地帯を次々失い、危機
的状況となっていた。



景祐元宝・表



景祐元宝・裏

9：至和通宝

- ①北宋：仁宗時代
- ②至和年間（1054～1056）
- ③北宋4代皇帝の後期に
鑄造された貨幣。至和3年、
仁宗は突然正気を失った。
朝廷が平癒のため道教に
すがったところ一月で完
全回復。**道教勢力はこれ
を機に一層強大化**した。



至和通宝・表



至和通宝・裏
はがし跡あり

10：嘉祐元宝

- ①北宋：仁宗時代
- ②嘉祐年間（1056～1063）
- ③北宋4代皇帝仁宗の末
期に鑄造された貨幣。こ
の頃、対外的には**遼・西
夏への莫大な貢物**、対内
的には膨大な官僚・軍隊
の維持に苦しみ、財政は
悪化の一途を辿っていた。



嘉祐元宝・表



嘉祐元宝・裏

11：治平元宝

- ①北宋：英宗時代
- ②治平年間（1064～1067）
- ③北宋5代皇帝英宗の時に鑄造された貨幣。英宗は傍系から即位したため、実父の扱いを巡って**朝廷は大論争**となった（**濮議**）。結局、英宗は何も取り組めないまま病死した。



治平通宝・表



治平通宝・表
篆書体

12：熙寧元宝

- ①北宋：神宗時代
- ②熙寧年間（1068～1077）
- ③北宋6代皇帝神宗の時に鑄造された貨幣。熙寧年間は財政改革断行のため宰相の**王安石**が活躍。同時に、チベット北部やベトナムへも遠征するなど、北宋の画期となった。



熙寧元宝・表



熙寧元宝・裏

13：元豊通宝

- ①北宋：神宗時代
- ②元豊年間（1078～1085）
- ③北宋6代皇帝神宗の時に鑄造された貨幣。元豊年間、**王安石の改革**が奏功し財政は再建。これをもとに神宗は外征でもある程度戦果を挙げ、**北宋の最盛期**を築いた。



元豊通宝・表
隸書体



元豊通宝・表
草書体

14：元祐通宝

- ①北宋：哲宗時代
- ②元祐年間（1086～1094）
- ③北宋7代皇帝哲宗の時に鑄造された貨幣。元祐年間は哲宗の皇太后（祖母）が政治を行い、**神宗時代の改革を全て撤廃**した。このため朝廷はもとより社会は混乱を来した。



元祐通宝・表



元祐通宝・表
篆書体

15：紹聖元宝

- ①北宋：哲宗時代
- ②紹聖年間（1094～1098）
- ③北宋7代皇帝哲宗の時に鑄造された貨幣。元祐年間には哲宗が自ら政治を行った時期で、**神宗時代の政策を復活**。「紹聖の紹述」と呼ばれる安定期を迎えた。



紹聖元宝・表



紹聖元宝・裏

16：大觀通寶

- ①北宋：徽宗時代
- ②大觀年間（1107～1110）
- ③北宋8代皇帝**徽宗**の時に鑄造された貨幣。徽宗は書画に長けており、宮廷画院の振興に尽力した。日本の国宝「**桃鳩図**」は、大觀元年に徽宗が描いたと伝わっている。



大觀通寶・表
徽宗の書



大觀通寶・裏

17：宣和通宝

- ①北宋：徽宗時代
- ②宣和年間（1119～1125）
- ③北宋8代皇帝徽宗の末期に鑄造された貨幣。宣和年間、北宋は**文化の爛熟期**を迎えたが、内憂外患が次々勃発。宣和7年、徽宗は自ら退位したが、翌年、金に滅ぼされて捕虜となった。



宣和通宝・表



宣和通宝・裏

18：淳熙元宝

- ①南宋：孝宗時代
- ②淳熙年間（1174～1189）
- ③南宋2代皇帝の時に鑄造された貨幣。この時期、南宋は国内が安定し全盛期を迎えていた。大輪田泊を開いた**平清盛**と**日宋貿易**を行ったのも、この淳熙年間である。



淳熙元宝・表



淳熙元宝・裏
「十」「三」字あり

19：慶元通宝

- ①南宋：寧宗時代
- ②慶元年間（1195～1201）
- ③南宋4代皇帝寧宗の時に鑄造された貨幣。この時期、日本（鎌倉幕府）は日宋貿易を通じて南宋の宋銭を大量に輸入した。ただし、慶元5年に日宋貿易は中止されている。



慶元通宝・表



慶元通宝・裏

20：嘉泰通宝

- ①南宋：寧宗時代
- ②嘉泰年間（1201～1204）
- ③南宋4代皇帝寧宗の時に鑄造された貨幣。この時期、北方ではテムジン（チンギス・ハン）によるモンゴル統一が目前であり、中国北部の情勢は大きく変動していた。



嘉泰通宝・表



嘉泰通宝・裏
「三」字あり

21：開禧通宝

- ①南宋：寧宗時代
- ②開禧年間（1205～1207）
- ③南宋4代皇帝寧宗の時に鑄造された貨幣。この時期、南宋は韓侂胄の主導で金との和約を破棄。金と全面戦争（開禧北伐）を開始したものの大敗し、不利な条件で講和した。



開禧通宝・表



開禧通宝・裏
はがし跡あり

22：嘉定通宝

- ①南宋：寧宗時代
- ②嘉定年間（1208～1224）
- ③南宋4代皇帝寧宗の時に鑄造された貨幣。この時期、南宋は金と和睦したが財政面で苦しんだ。一方、北方ではモンゴル帝国の台頭により金・西夏は追い詰められていた。



嘉定通宝・表



嘉定通宝・裏
「十」「四」字あり

23：淳祐元宝

- ①南宋：理宗時代
- ②淳祐年間（1241～1252）
- ③南宋5代皇帝の時に鑄造された貨幣。この時、北方では**モンゴルが金を滅ぼし南宋とも敵対関係**に入っていた。一方、理宗は寵妃のために莫大な浪費を重ね、財政は一気に疲弊した。



淳祐元宝・表



淳祐元宝・裏
「元」字あり

24：咸淳元宝

- ①南宋：度宗時代
- ②咸淳年間（1265～1274）
- ③南宋6代皇帝度宗の時に鑄造された貨幣。この時期、**モンゴルは国号を元と定め、南宋へ猛攻**を加えた。咸淳9年には最後の防衛拠点を失い、滅亡は決定的となっていた。



咸淳元宝・表



咸淳元宝・裏
「七」字あり

25：正隆元宝

- ①金：海陵王時代
- ②正隆年間（1156～1161）
- ③金4代皇帝海陵王の時に鑄造された貨幣。海陵王は残忍で、権威確立のため一族重臣を悉く誅殺。正隆6年、**60万の大軍で南宋を攻撃**したが大敗し、部下に殺害された。



正隆元宝・表



正隆元宝・裏

26：大定通宝

- ①金：世宗時代
- ②大定年間（1161～1189）
- ③世宗は女真族・金の第5代皇帝。南宋と和約を結び海陵王時代の混乱を収束。華北の支配を盤石なものとした。この時期は「大定の治」と呼ばれ、**金の全盛期**となった。



大定通宝・表



大定通宝・裏

27：洪武通宝

- ①明：洪武帝時代
- ②洪武年間（1368～1398）
- ③洪武帝は元を駆逐し、**明を建国**した皇帝。悲惨な極貧生活から身を起こし上り詰めた。在位中は改元しない「**一世一元制**」を確立。日本ではこれを明治から導入した。



洪武通宝・表



洪武通宝・裏
「福」は福州鑄造所

28：永樂通宝

- ①明：永樂帝時代
- ②永樂年間（1402～1424）
- ③明3代皇帝**永樂帝**の時に鑄造された貨幣。永樂帝は世界帝国実現のため各地へ遠征軍を派遣した。この時期、**足利義満が日明貿易を開始**し、大量の永樂通宝を輸入した。



永樂通宝・表



永樂通宝・裏

29：宣徳通宝

- ①明：宣徳帝時代
- ②宣徳年間（1425～1435）
- ③宣徳帝は明の第5代皇帝。満洲・ベトナムから撤退したものの、財政再建や文化振興に尽力し最盛期を築き上げた。**景德鎮の陶磁**も宣徳年間の質は高く評価されている。



宣徳通宝・表



宣徳通宝・裏

30：万暦通宝

- ①明：万暦帝時代
- ②万暦年間（1573～1620）
- ③万暦帝は明の第14代皇帝。1592年、**豊臣秀吉の朝鮮出兵**に対し、万暦帝は遼東地域の精鋭を朝鮮へ派遣。しかし、これが満洲族の台頭を促し、滅亡につながった。



万暦通宝・表



万暦通宝・裏

31：崇禎通宝

- ①明：崇禎帝時代
- ②崇禎年間（1627～1644）
- ③崇禎帝は明最後の第17代皇帝。帝国の改革に失敗し、治世後半は満洲族の攻撃や農民軍の反乱に悩まされた。1644年、李自成に敗れ**北京紫禁城内で自殺**。明は滅亡した。



崇禎通宝・表



崇禎通宝・裏

32：順治通宝

- ①清：順治帝時代
- ②順治年間（1644～1661）
- ③清3代皇帝の時に鑄造された貨幣。順治帝は即位と同時に中国へ南下したものの、**南明の頑強な抵抗**に遭い終始不安定であった。また叔父ドルゴンの強権にも苦しんだ。



順治通宝・表



順治通宝・裏

33：康熙通宝

- ①清：康熙帝時代
- ②康熙年間（1654～1722）
- ③清4代皇帝の時に鑄造された貨幣。この時期、清は南明・台湾を滅ぼして中国を統一。明末に活躍した朱舜水など多くの文人が、清の圧迫から逃れるため日本へ亡命した。

34：乾隆通宝

- ①清：乾隆帝時代
- ②乾隆年間（1735～1796）
- ③清6代乾隆帝の時に鑄造された貨幣。この時期、清は外征を繰り返し、最大領域となった。また、古今の書籍を収録し3万6000冊からなる『四庫全書』も編纂している。



康熙通宝・表



乾隆通宝・表



康熙通宝・裏
滿洲文字



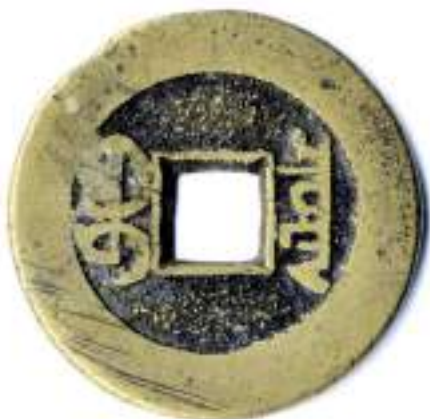
乾隆通宝・裏
滿洲文字

35：嘉慶通宝

- ①清：嘉慶帝時代
- ②嘉慶年間（1796～1820）
- ③清7代皇帝の時に鑄造された貨幣。乾隆帝末期の悪弊を除くため、精力的に改革を行った。この頃、鎖国の日本（文化文政時代）とも**長崎出島で盛んに交易**を行った。



嘉慶通宝・表



嘉慶通宝・裏
滿洲文字

36：道光通宝

- ①清：道光帝時代
- ②道光年間（1821～1850）
- ③1840年、清は**アヘン戦争**でイギリスに敗北し、不平等な南京条約を締結。以降、列強の進出を許した。この敗戦は鎖国を続ける江戸幕府にも大きな衝撃を与えた。



道光通宝・表



道光通宝・裏
滿洲文字

37：光緒元宝

- ①清：光緒帝時代
- ②光緒年間（1871～1908）
- ③清11代皇帝の時に鑄造された貨幣。光緒帝は終始**西太后**に圧迫されたことで知られる。この時期、清は著しく衰退し、1894年の**日清戦争敗北**で決定的となった。



光緒元宝・表
鑄造所は満語表記



光緒元宝・裏
龍紋

38：慶長通宝

- ①江戸時代：江戸幕府
- ②慶長11年以降（1606～?）
- ③江戸初期、**徳川家康**によって鑄造された貨幣。皇朝十二銭以来、600年ぶりとなる和銭である。当時、大坂には豊臣氏が残っていたため、**江戸一帯**を中心に少量流通した。



慶長通宝・表



慶長通宝・裏

39：寛永通宝

- ①江戸時代：寛永～慶応
- ②寛永13年以降(1636～1867)
- ③江戸前期の寛永13年、3代将軍**徳川家光**の時に鑄造された貨幣。時期によって種類が増え、裏に**波形があれば4文、なければ1文**の価値とされた。明治初期まで使用された。



寛永通宝・表
一文銭



寛永通宝・裏
一文銭

40：天保通宝

- ①江戸時代：天保～明治
- ②天保6年以降(1835～1870)
- ③江戸幕府11代将軍徳川家斉の時に鑄造された貨幣。当時、幕府は**水野忠邦**らによる貨幣改鑄を行っていた。天保銭は高額貨幣で**100文の価値**を持たせた。



天保通宝・表



天保通宝・裏
当百(100文相当)

41：文久永宝

- ①江戸時代：文久～慶応
- ②文久3年以降(1863～1867)
- ③幕末の文久3年、14代将軍徳川家茂の時に鑄造された貨幣。文久永宝は寛永通宝の4文銭に代わるものとして発行され、裏に波形がある。明治初期まで使用された。



文久永宝・表



文久永宝・裏